

2024年度 筑波大学附属図書館の活動

中央図書館ラーニング・スクエアでの「学問探究チュートリアル」授業実施を支援

学習支援



授業の様子

2024年5月から2025年1月まで、中央図書館本館2階ラーニング・スクエアで実施された総合科目（学士基盤科目）「学問探究チュートリアル」の授業について各種支援を行いました。この授業は本学が進める「つくば型チュートリアル学修」の一環として今年度開講された新しい授業で、学群1年生約40名が履修しました。図書館では、ワークショップや個別対話の場の提供・設営補助、チューター教員の推薦図書を紹介する「チュートリアルの本棚」の展示、図書館で日頃活動しているラーニング・アドバイザー（大学院生）によるワークショップ協力等を行いました。オープンな空間でワークショップが活発に行われ、授業以外の学生も立ち止まって興味深く見ていました。

「チュートリアルの本棚」を設置

学習支援



チュートリアルの本棚

「学問探究チュートリアル」チューター教員の推薦図書を展示する本棚を、授業が実施される中央図書館本館2階に設置しました。当初は2024年5月から9月までの展示を予定していましたが、チュートリアル学修の広報として有効なこと、図書の貸出実績も好調であることから、通年での展示を行うことになりました。

本棚は、9月に筑波大学先端教学推進機構の協力を得て、つみ木のように自由に組み替え可能なものにリニューアルしました。創造性豊かな思考力と行動力で未来をデザインできる力を育むというチュートリアル学修の趣旨に沿う楽しく個性的な展示となっています。

書架工事等による資料利用環境の向上

学習支援



新館3階書架（工事前）



新館3階書架（工事後）

2024年11月から2025年3月にかけて以下の書架工事やカビ対策等を実施しました。

- 中央図書館新館3階・4階の書架狭隘化を低減するため、既存の固定書架27台を撤去し、集密書架58台を設置しました。
- 中央図書館本館1階電動式移動書架の老朽化に伴う故障頻発解消のため、その一部（20台）について電動式から手動（ハンドル）式への改修を行いました。
- 中央図書館および医学図書館において空調設備工事や資料燻蒸作業等を実施し、資料のカビ対策を行いました。

これらの工事等により、長年の懸案であった書架狭隘化・カビ問題に対応し、利用者の資料利用環境の向上に資することができました。今後も引き続き良好な利用環境の維持に努めます。

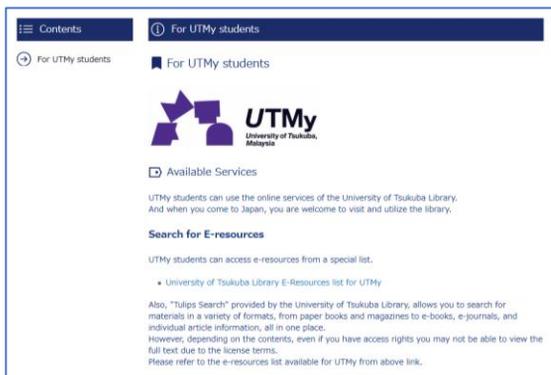


中央図書館の防音ブース

新たな学習空間の整備を目的として、2024年11月に中央図書館と大塚図書館に防音ブースを設置しました。中央図書館には1人用と4人用を1台ずつ、大塚図書館には1人用を1台設置し、それぞれ11月6日と11月27日に利用を開始しました。施設の予約は、研究個室等と同様にマイライブラリからオンライン予約できるように設定しました。

2025年2月末までに3施設合わせて970人を超える利用がありました。利用後のアンケートによると、主に本学の授業やゼミ、発表練習、学会への参加などの目的で利用されています。また、ブース内の環境や利用時間、予約方法に関して90%以上の方から使いやすい・問題ないとの回答を得ました。加えて「オンライン授業で利用した。とても環境が良くありがたかった」などの好意的な声を多数いただいています。

マレーシア校の学生向けの図書館サービスをまとめたページ "For UTM My Students" を公開



"For UTM My Students" ページ

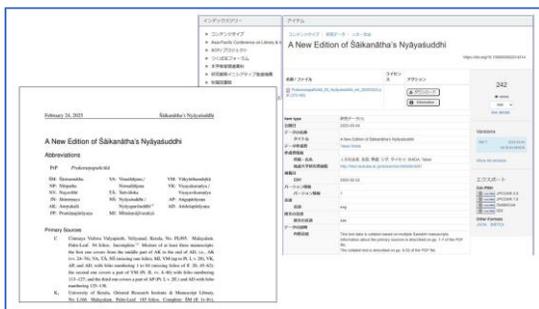
2024年9月の筑波大学マレーシア校の開校に合わせて、同年8月にマレーシア校学生向けの図書館サービスをまとめたページ "For UTM My Students" を附属図書館Webサイト上に公開しました。

マレーシア校の学生は、校内のCreative Learning Space (CLS) とマラヤ大学附属図書館、及び筑波大学本校の附属図書館を利用できます。このページでは、マレーシア校学生向けの電子リソースや、ディスカバリサービス、電子メール・オンラインフォームによるレファレンスサービス等、現地からでも利用可能なサービスと、日本滞在中の貸出等の来館利用について案内しています。今後もマレーシア校の支援室等と協力し、学生のニーズに応じたサービスの提供を継続していきます。

For UTM My Students

<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/utmy>

つくばリポジトリを活用したOA推進体制を整備



本学初となる研究データの登録事例

<https://doi.org/10.15068/0002014314>

つくばリポジトリでは、2025年度以降に始まる公的研究資金による研究成果のオープンアクセス (OA) 義務化に向けた体制整備を進めました。関連規程やシステム等の改定・改修により、全国に先駆けてOA化に取り組んできた学術ジャーナル掲載論文に加えて根拠データ等の公開にも、学内研究者に寄り添って柔軟に対応します。

また、複数の学内紀要について紙媒体から電子ジャーナルへの移行を支援し、学内資源の有効活用に貢献しました。本学第1号となる研究データも3月4日に公開を果たし、今後も登録コンテンツの幅を広げながら筑波大学の研究成果を世界へ発信していきます。

OA加速化事業によるAPC支援を実施



APC支援案内用Webページ

附属図書館では、採択された文部科学省「オープンアクセス加速化事業」により、論文をオープンアクセス (OA) にするために必要な「論文掲載料 (Article Processing Charge : APC)」の支援を実施しました。その支援策は、本学のOA推進体制を整備すべく設置した「オープンアクセス推進会議」により策定し、期間中にOA出版した論文約200件に対しAPC補助を行いました。この補助によりOAによるメリットを体感いただき、さらに、2025年度から国の即時オープンアクセス基本方針の運用が開始される中で、機運の醸成、OA化が加速されることを期待しています。

広報チラシ

全学で整備している電子ジャーナルパッケージのうち、大手5社を転換契約に切り替え、2025年1月から（ScienceDirectのみ4月から）論文掲載料（APC）の支援を開始しました。転換契約とは、購読モデルからOA出版モデルへの転換を目的とする契約で、出版社への支払い総額を大幅に抑えてOA出版枠を確保することができる契約です。これにより、対象となるジャーナルに本学構成員がOA出版の際、著者は、2025年1-3月はオープンアクセス加速化事業経費によりAPCの負担なしで、4月以降はAPCの一部を負担するだけで、OA出版が可能となりました。

【転換契約対象パッケージ】 Cambridge University Press、Oxford University Press、SpringerLink、Wiley Online Library、ScienceDirect

2024年度附属図書館特別展「忠孝一本-江戸時代のモラル」を開催

社会貢献



展示資料より『二十四孝見立画面』10 剡子

2024年10月29日から11月22日まで、中央図書館において特別展を開催しました。本展では、江戸時代の人々の生活や価値観、およびその文化に息づいていた道徳観について具体例を紹介しました。「忠」とは君臣関係、「孝」とは親子関係の在り方を示す儒教的な概念であり、それらに関する附属図書館所蔵の貴重な資料40点を展示しました。また11月6日には、芸術系・水野裕史准教授による「和漢の学問を支える神」、人文社会系・井川義次教授による「儒教概念受容に関する東西の特殊性について」の特別講演会を開催しました。会期中には、学内外から1,319名が訪れ、古の人間関係に思いを馳せながら貴重な資料を観覧しました。

<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/exhibition/2024/>

2024年度「国書データベース」への本学資料提供・掲載

情報発信



国書データベース

「データ駆動による課題解決型人文学の創成」プロジェクトが、2024年度から10年間の計画で実施されます。その一環として、「国書データベースの充実」に向け、大学と国文学研究資料館が覚書を交わし、データ提供やデータベース構築を進めています。

2024年度は、内製作業で『致知啓蒙』など178点（241冊、10,187コマ）、業者撮影で『佩文對語』など175点（637冊、32,387コマ）を電子化しました。これらの資料は、今後「国書データベース」<<https://kokusho.nijl.ac.jp/>>および「筑波大学デジタルコレクション」<<https://dc.tulips.tsukuba.ac.jp/>>で公開予定です。

筑波大学出版会 2024年度刊行書籍とリポジトリ全文公開

情報発信



2024年度刊行書籍

筑波大学出版会は、附属図書館内に事務局を置き、筑波大学の研究成果を発信するため、学術書・教科書・一般教養書等を刊行しています。

2024年度は、「科学の芽」賞作品集を含めた次の4点が刊行され、1点の書籍がつばりポジトリで全文公開となりました。

新刊

『東アジア冷戦文化の系譜学—一九四五年を跨境して』

『もっと知りたい! 「科学の芽」の世界 PART9』

『病誌から考える精神科面接』

『わが国における制御焦点理論ならびに制御適合理論に関する実証的研究』

つばりポジトリ全文公開 <https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/>
『文化と文化をつなぐ シェイクスピアから現代アジア演劇まで』